

## 6. 研究業績

### 6. 1 著書 (名前、著書題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

#### 西山 賢一

- (1) 西山 賢一, 日本地形学連合編, 地形の辞典, 朝倉書店 (総ページ 1,018p, 分担執筆), 2017 年
- (2) 西山 賢一, 日本地質学会編著, はじめての地質学, ベレ出版, (総ページ 245p, 分担執筆: pp. 206-211), 2017 年

#### 近藤 光男

- (1) 近藤光男, 自然災害ー減災・防災と復旧・復興への提言ー (第7章「活断層への土地利用対策ー徳島県における事例ー」), 梶秀樹・和泉潤・山本佳世子他, 技報堂出版, 2017 年 9 月 15 日

#### 浜野 龍夫

- (1) 浜野 龍夫編著, 神戸住吉川 魚道と生きもの図鑑, 兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所, 78P, 2018 年 3 月 31 日。

#### 西田 貴明

- (1) 西田 貴明, グリーンインフラとは何か, 日本ビジネス出版・環境ビジネス 2017 年秋号, 2017 年 9 月
- (2) 西田 貴明, 8-7 環境 DNA: 一杯の水から読み解く生物調査のブレイクスルー, 共著, 東洋経済新報社・「2018 年日本はこうなる」(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング), pp. 256-257, 2017 年 11 月
- (3) 西田 貴明, 8-9 国立公園インバウンド: 世界自然遺産登録を契機に広がる可能性, 共著, 東洋経済新報社・「2018 年日本はこうなる」(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング), pp. 260-261, 2017 年 11 月
- (4) 西田 貴明, グリーンインフラと環境ビジネス, 日本ビジネス出版・環境ビジネス 2018 年冬号, 2017 年 12 月
- (5) 西田 貴明, 次代を変える技術者, 日経コンストラクション 2018 年 1 月 22 日号, 2018 年 1 月
- (6) 西田 貴明, 生物多様性協働フォーラムのまとめ, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月
- (7) 西田 貴明、橋本 佳延, 生物多様性協働フォーラムの成果, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月
- (8) 橋本 佳延、西田 貴明、三橋 弘宗, 生物多様性協働フォーラムとは, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月

### 6. 2 論文 (名前、題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

#### <防災研究部門>

#### 馬場 俊孝

- (1) Katsumata, A., Y. Hayashi, K. Miyaoka, H. Tsushima, T. Baba, P. A. Catalán, C. Zelaya, F. Riquelme Vasquez, R. Sanchez-Olavarria, and S. Barrientos, Stand-alone tsunami alarm

- equipment, Nat. Hazards Earth Syst. Sci., 17, 685–692, doi:10.5194/nhess-17-685-2017, 2017 年 5 月
- (2) Baba, T., J. Taniguchi, N. Kusunoki, M. Miyoshi, H. Aki, Preliminary Study on Long-Term Flooding After the Tsunami, J. Disaster Research, 12, 741–747, doi:10.20965/jdr.2017.p0741, 2017 年 8 月
- (3) Takahashi, N., K. Imai, M. Ishibashi, K. Sueki, R. Obayashi, T. Tanabe, F. Tamazawa, T. Baba, and Y. Kaneda, Real-Time Tsunami Prediction System Using DONET, J. Disaster Research, 12, 766–774, doi: 10.20965/jdr.2017.p0766, 2017 年 8 月
- (4) Ichimura, T., R. Agata, T. Hori, K. Satake, K. Ando, T. Baba and M. Hori, Tsunami Analysis Method with High-Fidelity Crustal Structure and Geometry Model, Journal of Earthquake and Tsunami, 11, 1750018, DOI: 10.1142/S179343111750018X, 2017 年 10 月
- (5) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, 土木学会論文集 B2(海岸工学), 73, I\_289–I\_294, [https://doi.org/10.2208/kaigan.73.I\\_289](https://doi.org/10.2208/kaigan.73.I_289), 2017 年 10 月

## 村田 明広

- (1) 村田 明広・高橋 司, 黒瀬川構造帯の模式地と四国西部の秩父帯を巡る: 四国西予ジオパーク. 地質学雑誌, Vol. 123, pp. 585–597, 2017 年

## 蔣 景彩

- (1) 蔣 景彩, 中野 晋, 2016 年熊本地震における益城町での地盤と住宅被害の関係, 平成 29 年自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 (第 12 巻), 2018 年 1 月
- (2) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋: 平成 28 年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 平成 29 年自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 (第 12 巻), 2018 年 1 月

## 西山 賢一

- (1) Torii, M., Okuno, M., Nishiyama, K., Kitazono, Y., Hasenaka, T., and Yokota, S. (2017): Three types of sediment movement in the Sannoudani River, Minamiaso Village, Kumamoto Prefecture, southwestern Japan (Cover Story), Journal of the Sedimentological Society of Japan, 76, p. 64.
- (2) 西山 賢一・横田 修一郎・長谷川 修一・菅原 大助, 火山角礫岩からなる急崖に発達するノッチ・タフォニの形成プロセスと岩盤崩落との関係: 香川県高松市五剣山の例. 地学雑誌, Vol. 126, pp. 425–437, 2017 年
- (3) 西山 賢一・瀬部 直之・石田 啓祐・中尾 賢一・辻野 泰之・橋本 寿夫, 地形・地質から見た鳴門海峡の成立. 阿波学会紀要, 第 61 号, pp. 1–10, 2017 年
- (4) 西山 賢一・石田 啓祐・中尾 賢一・辻野 泰之, 「ドイツ橋」および「ドイツ兵の慰霊碑」撫養石石材の産地と経年風化. 阿波学会紀要, 第 61 号, pp. 177–184, 2017 年
- (5) 西山 賢一, 地すべりの発生年代に関する既存の研究. らんどすらいど (日本地すべり学会関西支部会報), No. 32, pp. 27–31, 2017 年

- (6) 西山 賢一・鳥井 真之・田近 淳・奥野 充・井口 隆・碓井 敏彦・矢野 寛幸・横田 修一郎, 地震で流下・堆積した阿蘇カルデラ西部, 山王谷川・垂玉川流域の崩壊堆積物. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.128-138, 2017 年
- (7) 西山 賢一・鳥井 真之・井口 隆・釜井 俊孝・田近 淳・高見 智之・加藤 靖郎・奥野 充・山本 茂雄・矢田 純, 阿蘇火山研究所周辺で発生した地すべり. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.120-127, 2017 年
- (8) 高見 智之・井口 隆・加藤 靖郎・西山 賢一・日本応用地質学会九州支部 WG 斜面災害班, 地震で生じた斜面災害の特徴と地形地質条件からの類型化. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.85-95, 2017 年
- (9) 日本応用地質学会 2016 年熊本・大分地震災害調査団 陥没性亀裂調査班 (西山 賢一ほか 23 名), 阿蘇カルデラ内に出現した陥没性亀裂と側方移動. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.64-72, 2017 年
- (10) 奥野 充・鳥井 真之・西山 賢一・中西 利典・横田 修一郎・井口 隆・高見 智之・加藤 靖郎・宮崎 精介・山本 茂雄・長谷中 利昭・北園 芳人・九州応用地質学会熊本・大分地震災害ワーキンググループ, 平成 28 年 (2016 年) 地震で誘発された阿蘇カルデラ・高野尾羽根火山の西側斜面の崩壊プロセスについて. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.114-119, 2017 年
- (11) 西山 賢一, 2016 年熊本地震の災害調査報告. めらんじゅ (宮崎応用地質研究会誌), No. 28, pp.52-59. 2017 年
- (12) 西山 賢一, 徳島市の地盤. 全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究報告書, 地盤工学会全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究委員会, pp.97-100, 2017 年
- (13) 西山 賢一・撰田 克哉・井口 隆, 朝倉市妙見川流域で発生した地すべり・斜面崩壊の地形・地質的特徴. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, 2018 年
- (14) 田近 淳・太田 岳洋・千田 敬二・長谷川 怜思・碓井 敏彦・田村 浩行・西村 智博・松澤 真・西山 賢一・撰田 克哉・戸邊 勇人・池見 洋明・佐伯 佳美・磯部 有作・松尾 達也・小野田 敏・小林 洋・江口 貴弘, 火山岩地域でおきた特徴的な斜面変動一日田市小野地すべりを中心に. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, 2018 年

## **山中 亮一**

- (1) 石河 雅典, 上月 康則, 山中 亮一, 大久保 陽介: 数値計算を用いた粘り強い耐津波海岸堤防裏法面形状に関する考察, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1069-1074, 2017 年
- (2) 井若 和久, 上月 康則, 杉本 卓司, 樋口 僚, 岡本 隼輔, 山中 亮一, 佐藤 康徳: 徳島市津田・新浜地区での中学生との想定津波浸水深表示シールの貼付とその啓発効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1519-1524, 2017 年
- (3) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.289-294, 2017 年

## <環境研究部門>

### 鎌田 磨人

- (1) 佐々木 剛・丹羽 英之・朝波 史香・鎌田 磨人, 「小型 UAV を用いた海岸マツ林の林床光環境の推定」, 日本緑化工学会誌, 43(1), pp. 51-55, 2017 年 9 月
- (2) Kamada M., Muto Y. & Imai Y., 「Paddy fields as green infrastructure」, E-proceedings of the 37th IAHR World Congress, p. 7, 2017 年 8 月
- (3) 鎌田 磨人, 「生態系への投資がなぜ必要なのか?」, グリーンパワー (2018 年 2 月号), 470 号, pp. 26-29, 2018 年 2 月
- (4) 鎌田 磨人, 「農」の場における生物多様性を維持・利活用し続けるための仕組み, 季刊 政策・経営研究, 2018\_Vol. 1, pp. 29-35, 2018 年 3 月

### 上月 康則

- (1) 渡辺 雅子, 永峰 和佳, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 山中 亮一, 沖洲人工海浜での希少種ルイスハンミョウ保全のための生息環境創出実験, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1363-1368, 2017 年
- (2) 山中 亮一, 上月 康則, 中西 敬, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森紗綾香, 谷口 大太郎, 尼崎運河での環境活性コンクリートによる 生物浄化水路への効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1387-1392, 2017 年
- (3) 東 和之, 大田 直友, 橋本 温, 大谷 壮介, 上月 康則, ニホンスナモグリの生物攪拌による底質環境の改変と底生生物相への影響, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73 巻, 2, pp. 857-862, 2017 年
- (4) 渡辺 雅子, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 松島 輝将, 山中 亮一, 希少種保全を目的とした人工海浜の整備について, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 851-856, 2017 年
- (5) 竹山 佳奈, 山中 亮一, 河野 博, 岩本 裕之, 宮本 一之, 平川 倫, 上月 康則, 都市部運河域を利用する魚類を対象とした生物共生護岸に関する実験的検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 845-850, 2017 年
- (6) 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩見 和樹, 山中 亮一, 宮本 一之, 酸素・塩分勾配水槽を用いたチチブの貧酸素応答に関する実験的研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 839-844, 2017 年
- (7) 浜谷 信介, 加島 史浩, 竹山 佳奈, 和栗 成樹, 山内 裕元, 岩本 裕之, 山中 亮一, 上月 康則, PS 灰改質材を用いて改質した浚渫土の水域の植物生育基盤への適用性, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 953-958, 2017 年
- (8) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一「大学生を対象とした干潟での自然体験学習に関する考察～アクティブラーニングの視点から～」, 沿岸域学会誌, Vol. 30(1), pp. 53-63, 2017 年

### 山中 亮一

- (1) 渡辺 雅子, 永峰 和佳, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 山中 亮一, 沖洲人工海浜での希少種ルイスハンミョウ保全のための生息環境創出実験, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1363-1368, 2017 年

- (2) 山中 亮一, 上月 康則, 中西 敬, 大熊 平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 谷口 大太郎, 尼崎運河での環境活性コンクリートによる 生物浄化水路への効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1387-1392, 2017 年
- (3) 渡辺 雅子, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 松島 輝将, 山中 亮一, 希少種保全を目的とした人工海浜の整備について, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.851-856, 2017 年
- (4) 竹山 佳奈, 山中 亮一, 河野 博, 岩本 裕之, 宮本 一之, 平川 倫, 上月 康則, 都市部運河域を利用する魚類を対象とした生物共生護岸に関する実験的検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.845-850, 2017 年
- (5) 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩見 和樹, 山中 亮一, 宮本 一之, 酸素・塩分勾配水槽を用いたチヂブの貧酸素応答に関する実験的研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.839-844, 2017 年
- (6) 浜谷 信介, 加島 史浩, 竹山 佳奈, 和栗 成樹, 山内 裕元, 岩本 裕之, 山中 亮一, 上月 康則, PS 灰改質材を用いて改質した浚渫土の水域の植物生育基盤への適用性, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.953-958, 2017 年
- (7) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一「大学生を対象とした干潟での自然体験学習に関する考察～アクティブラーニングの視点から～」, 沿岸域学会誌, Vol. 30(1), pp. 53-63, 2017 年

#### 小串 重治

- (1) 小串 重治, 鎌田 磨人, スマホを利用した市民生物分布調査の有効性と課題, ランドスケープ研究 : 日本造園学会誌, 81(1), pp. 42-45, 2017 年 4 月

#### 西田 貴明

- (1) 西田 貴明・沼田 壮人, 都市の生物多様性指標から見る地方自治体の自然環境と保全活動の全国傾向, 日本造園学会誌, 2018 年 1 月
- (2) 西田 貴明, グリーンインフラ, 農村計画学会誌 Vol. 36 巻, 2017 年 9 月
- (3) 西田 貴明, 次世代の経済・社会と生物多様性の政策統合に向けて, 日本生態学会誌 Vol. 67(2017) No. 2, pp.197-204, 2017 年 8 月
- (4) 岩浅 有記, 西田 貴明, 人口減少・成熟社会におけるグリーンインフラストラクチャーの社会的ポテンシャル, 日本生態学会誌 Vol. 67(2017) No. 2, pp. 239-245, 2017 年 8 月

#### <危機管理研究部門>

#### 中野 晋

- (1) 嶋田 宏, 中野 晋 : ミャンマー高潮被災地域における簡易潮位計の設置と潮位予測の試み, 土木学会論文集 B3(海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp. I\_749-I\_754, 2017 年
- (2) 森 康成, 中野 晋 : 学校における防災マニュアルと避難行動を結び付けた教科教育教材の開発, --- 英語活動と図画工作を事例に ---, 安全教育学研究, Vol. 17, No. 1, pp. 33-50, 2017 年
- (3) 中野 晋 : 2017 年九州北部豪雨にみる児童・生徒を安全に下校させるための課題, 平成 29 年自然災害フォーラム論文集, pp. 11-18, 2018 年
- (4) 蔣 景彩, 中野 晋 : 2016 年熊本地震における益城町での地盤と住宅被害の関係, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 43-48, 2018 年



- (5) 湯浅 恭史, 中野 晋 : 徳島県内の災害拠点病院における事業継続の実態と今後の課題, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 61-64, 2018 年
- (6) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋 : 平成 28 年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 79-86, 2018 年
- (7) 川瀬 公美子, 中野 晋, 内海 千種 : 災害支援者をより活用するための受援体制のあり方, --- 公立学校の派遣スクールカウンセラーの受け入れ方法の提案 ---, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 73-78, 2018 年
- (8) 井上 惣介, 中野 晋 : 2016 年熊本地震における地元建設企業の災害対応に関するインタビュー調査, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_27-I\_34, 2018 年
- (9) 金井 純子, 三好 学, 安藝 博資, 中野 晋 : 高齢者施設における洪水時の「避難開始の判断」の重要性と判断の目安の設定方法, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_139-I\_146, 2018 年
- (10) 根来 慎太郎, 湯浅 恭史, 中野 晋, 朝野 佳伸:GIS による「見える化」を活かした建設会社の BCP 改革, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_199-I\_205, 2018 年
- (11) 湯浅 恭史, 中野 晋, 島田 敬祐, 田中 勇氣 : 自己チェックシートによる自治体 BCP の改善と今後の課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_213-I\_218, 2018 年
- (12) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏 : 平成 28 年熊本地震における医療機関の事業継続の実態と課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_207-I\_212, 2018 年

## 上月 康則

- (1) 石河 雅典, 上月 康則, 山中 亮一, 大久保 陽介 : 数値計算を用いた粘り強い耐津波海岸堤防裏法面形状に関する考察, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1069-1074, 2017 年
- (2) 井若 和久, 上月 康則, 杉本 卓司, 樋口 僚, 岡本 隼輔, 山中 亮一, 佐藤 康徳 : 徳島市津田・新浜地区での中学生との想定津波浸水深表示シールの貼付とその啓発効果, 海岸工学論文集 B2(海岸工学), 73, 2, pp. 1519-1524, 2017 年
- (3) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 289-294, 2017 年

## 湯浅 恭史

- (1) 根来 慎太郎, 湯浅 恭史, 中野 晋, 朝野 佳伸 : GIS による「見える化」を活かした建設会社の BCP 改革, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_199-I\_205, 2018 年
- (2) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏 : 平成 28 年熊本地震における医療機関の事業継続の実態と課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_207-I\_212, 2018 年
- (3) 湯浅 恭史, 中野 晋, 島田 敬祐, 田中 勇氣 : 自己チェックシートによる自治体 BCP の改善と今後の課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I\_213-I\_218, 2018 年
- (4) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋:平成 28 年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 79-86, 2018 年
- (5) 湯浅 恭史, 中野 晋 : 徳島県内の災害拠点病院における事業継続の実態と今後の課題, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 61-64, 2018 年

## 金井 純子

- (1) 金井 純子・三好 学・安藝 浩資・中野 晋, 高齢者施設における洪水時の「避難開始の判断」の重要性と判断の目安の設定方法, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, 2018 年

## 6. 3 研究発表等 (名前、発表題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

### <防災研究部門>

#### 馬場 俊孝

- (1) 中村 武史, 馬場 俊孝, 南海トラフ域における津波伝播即時予測システムの開発, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SCG72-P05, 2017 年 5 月
- (2) 齊藤 竜彦, 馬場 俊孝, 武村 俊介, 福山 英一, 地震波と津波を考慮した海面変位と浸水の理論計算手法: 南海トラフ巨大地震モデルでの計算例, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SSS08-17, 2017 年 5 月
- (3) 吉川 真史, 村田 伸, 五十嵐 康彦, 馬場 俊孝, 堀 高峰, 岡田 真人, べき乗則をもとにした津波高予測のための非線形パラメトリックモデル, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HDS16-08, 2017 年 5 月
- (4) 谷口 純一, 吉川 貴史, 村田 伸, 五十嵐 康彦, 堀 高峰, 岡田 真人, 馬場 俊孝, L1 正則化項付き線形回帰による津波予測に適した観測点配置の検討, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HDS16-02, 2017 年 5 月
- (5) 馬場 俊孝, 芦 寿一郎, 金松 敏也, 海底地滑りを波源とした 1512 年永正津波の数値計算 第 34 回歴史地震研究会つくば大会, 2017 年 9 月 15 日
- (6) 田川 恭平, 谷口 純一, 大角 恒雄, 堀 高峰, 岡田 真人, 馬場 俊孝, 津波高予測に適した観測点配置のグループラッソによる検討, 地震学会秋季大会, 2017 年 10 月 25 日
- (7) 水口 竜一、馬場 俊孝、井若 和久、塚本 章宏、渡辺 公次郎、山中 英生 自律型位置把握システムにより取得された情報を用いた津波避難シミュレーション, 平成 29 年自然災害フォーラム& 第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018 年 1 月 17 日
- (8) Baba, T., T. Okada, J. Ashi, T. Kanamatsu, A possible source model of the 1512 Eisho tsunami described in an ancient document, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, HDS12-10, 2017 年 5 月
- (9) Baba, T., T. Okada, J. Ashi, T. Kanamatsu, A possible tsunami caused by a submarine landslide in 1512 at the Nankai trough, Japan, IAG-IASPEI 2017, S04-1-02, Kobe. 2017 年 8 月
- (10) Saito, T., T. Baba, S. Takemura, E. Fukuyama, Synthesis of Offshore Tsunami Records and Inundation Including Seismic Waves and Tsunami: Anticipated Nankai Trough Earthquakes, Southwest, Japan, IAG-IASPEI 2017, J04-4-04, Kobe. 2017 年 8 月
- (11) Baba, T., S. Allgeyer, J. Hossen, P. R. Cummins, T. Kato, Later phase modeling of the trans-pacific tsunami caused by the 2011 Tohoku earthquake, International Tsunami Symposium 2017, Bali, 2017 年 8 月 21 日
- (12) Murakami, S., J. Taniguchi, T. Baba, Influence of spatial heterogeneity of fault slip on coastal tsunami height, International Tsunami Symposium 2017, Bali, 2017 年 8 月 21 日

- (13) Baba, T., J. Ashi, T. Kanamatsu, K. Imai, K. Yamashita, Paleogeographical, bathymetric and numerical investigations for a tsunami possibly caused by submarine mass failures in the Nankai trough, Japan, AGU fall meeting 2017, NH23A-0206, New Orleans, 2017 年 12 月 12 日

## 蒋 景彩

- (1) 蒋 景彩, 中野 晋, 2016 年熊本地震による益城町の地盤災害の特徴, 日本地震工学会 2017 年大会, 2017 年 11 月
- (2) An-Jui Li, Jing-Cai Jiang, Rock slope stability investigations using pseudo-static method, 4th International Forum on Advanced Technologies, Tokushima, 2018 年 3 月 8・9 日
- (3) Ang Liu, Jing-Cai Jiang, Wenli Lin, Jun Zhu, Shear stress relaxation properties of discontinuities under different stress and JRC, 4th International Forum on Advanced Technologies, Tokushima, 2018 年 3 月 8・9 日

## 西山 賢一

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018 年 1 月
- (2) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 2017 年 5 月

## <環境研究部門>

### 鎌田 磨人

- (1) 朝波 史香・伊東 啓太郎・鎌田 磨人, 福岡県福津市福間における海岸マツ林の自律的管理. 第 61 回日本生態学会中国・四国地区大会 (高知市), 2017 年 5 月 13 日
- (2) Kamada M., Muto Y. & Imai Y. 「Paddy fields as green infrastructure」, 37th IAHR World Congress (Kuala Lumpur, Malaysia), 2017 年 8 月 17 日
- (3) 佐々木 剛・朝波 史香・鎌田 磨人・丹羽 英之, 「小型 UAV を用いた海岸マツ林の林床光環境の推定」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3 学会合同大会) (名古屋), 2017 年 9 月 23 日
- (4) 今井 洋太・渡辺 公二郎・鎌田 磨人, 「浸水想定区域内の法的土地利用区分に基づく地域累計-農地が持つ洪水調節機能を活かせるか?」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3 学会合同大会) (名古屋), 2017 年 9 月 23 日
- (5) 岩佐 愛恵・今井 洋太・鎌田 磨人, 「ナベヅルの越冬を可能にする水田・畦畔の景観構造」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3 学会合同大会) (名古屋), 2017 年 9 月 24 日
- (6) 朝波 史香・伊東 啓太郎・鎌田 磨人, 「ガバナンス論に基づく海岸マツ林の持続性評価-3 地域における保全活動の比較から」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3 学会合同大会) (名古屋), 2017 年 9 月 24 日



- (7) 今井 洋太・鎌田 磨人, 「対馬におけるナベヅルの越冬・中継地推定-餌場を核とした増創造のあり方」, 対馬学フォーラム 2017 (対馬市), 2017 年 12 月 10 日
- (8) 朝波史香・伊東啓太郎・鎌田磨人, 「福津市総合計画におけるガバナンスの仕組みと海岸マツ林の持続的管理」, 環境省環境研究総合推進費「ハビタットロスの過程に着目した生態系減災機能評価と包括的便益評価手法の開発」研究グループ・環境省環境研究総合推進費「人口減少, 気候変動下におけるグリーンインフラ-生物多様性・防災・社会的価値評価」研究グループ・総合地球環境学研究所「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)の評価と社会実装」研究グループ 公開シンポジウム「自然を活かして防災する-災害と恵みのかかわり」(福井県若狭町), 2018 年 2 月 10 日
- (9) 岩佐愛恵・今井洋太・鎌田磨人, 「ナベヅル受け入れのための餌資源量と農業者意識の評価-研究の枠組み」, 環境省環境研究総合推進費「ハビタットロスの過程に着目した生態系減災機能評価と包括的便益評価手法の開発」研究グループ・環境省環境研究総合推進費「人口減少, 気候変動下におけるグリーンインフラ-生物多様性・防災・社会的価値評価」研究グループ・総合地球環境学研究所「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)の評価と社会実装」研究グループ 公開シンポジウム「自然を活かして防災する-災害と恵みのかかわり」(福井県若狭町), 2018 年 2 月 10 日

## 上月 康則

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 高松, 2018 年 1 月
- (2) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司: 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月 2017 年 5 月
- (3) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月 2017 年 5 月
- (4) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司, 樋口 遼, 井若 和久, 山中 亮一, 佐藤 康德, 渡辺 公次郎, 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (5) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 大熊 康平, 中西 敬, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 環境活性コンクリートのヨコエビ類に対する蟻集効果の評価, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集松山,, 2017 年 5 月
- (6) 牧本 佳樹, 上月 康則, 前田 真里, 岩雲 貴俊, 松重 摩耶, 前田 清子, 山中 亮一, 高砂・この浦舟池での干潟創出による環境改善の試み, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (7) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 花住 陽一, 上月 康則, 松島 輝将, 玉井 勇佑, 岡田 直也, 山中 亮一, UAV 応用によるルイスハンミョウ生息環境モニタリングの有用性について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月

- (8) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 藍澤 夏美, 一色 圭佑, 中岡 禎雄, 中西 敬, 森 紗綾香, 尼崎運河での「干潟づくり活動」による環境改善活動の効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (9) 岩見 和樹, 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 宮本 一之, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩本 裕之, 山中 亮一, チチブの貧酸素水塊への耐性および忌避行動について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (10) 山中 亮一, 上月 康則, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 中西 敬, 谷口 大太郎, 尼崎運河水質浄化施設での環境活性コンクリートの二次消費者に及ぼす効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (11) 山中 亮一, 上月 康則, 上田 敦史, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 一色 圭佑, 森 紗綾香, ムラサキイカガイの分解に起因する水質汚濁過程について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (12) 松重 摩耶, 上月 康則, 西上 広貴, 山中 亮一, 宇宙時代に「自然体験学習」は必要か? -工学系大学院生の意見より-, 日本環境教育学会第 28 回大会, 岩手, p197, 2017 年 8 月
- (13) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, ジグソー法を取り入れた大学講義の成果と課題に関する一考察~学生の特質に着目して~, 日本協同教育学会, 岡山, pp. 112-113, 2017 年 9 月
- (14) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, AL 型大学院講義での発問「宇宙での生活に本物の自然体験は必要か?」の学習効果について, 平成 29 年度全学 FD 推進プログラム大学教育カンファレンス in 徳島発表抄録集, 徳島, p. 38-39, 2018 年 1 月
- (15) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 矢野 司, 上月 康則, 山中 亮一, UAV を活用した希少種ルイスハンミョウ保全のための取り組み, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (16) 矢野 司, 渡辺 雅子, 辻岡 雅啓, 上月 康則, 山中 亮一, 地域の宝を守る ~人工海浜とルイスハンミョウの保護~, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (17) 西上 広貴, 上月 康則, 山中 亮一, 尾野 薫, 平川 倫, 「ふるさと」の変遷とそれに対する大学生の行動変容特性について, 景観デザイン研究会, 京都, 2017 年 12 月

## 山中 亮一

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 高松, 2018 年 1 月
- (2) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (3) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司, 樋口 遼, 井若 和久, 山中 亮一, 佐藤 康德, 渡辺 公次郎, 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (4) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 大熊 康平, 中西 敬, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 環境活性コンクリートのヨコエビ類に対する蛸集効果の評価, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集松山, 2017 年 5 月

- (5) 牧本 佳樹, 上月 康則, 前田 真里, 岩雲 貴俊, 松重 摩耶, 前田 清子, 山中 亮一, 高砂・この浦舟池での干潟創出による環境改善の試み, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (6) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 花住 陽一, 上月 康則, 松島 輝将, 玉井 勇佑, 岡田 直也, 山中 亮一, UAV 応用によるルイスハンミョウ生息環境モニタリングの有用性について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (7) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 藍澤 夏美, 一色 圭佑, 中岡 禎雄, 中西 敬, 森 紗綾香, 尼崎運河での「干潟づくり活動」による環境改善活動の効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (8) 岩見 和樹, 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 宮本 一之, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩本 裕之, 山中 亮一, チチブの貧酸素水塊への耐性および忌避行動について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (9) 山中 亮一, 上月 康則, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 中西 敬, 谷口 大太郎, 尼崎運河水質浄化施設での環境活性コンクリートの二次消費者に及ぼす効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (10) 山中 亮一, 上月 康則, 上田 敦史, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 一色 圭佑, 森 紗綾香, ムラサキイカガイの分解に起因する水質汚濁過程について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (11) 松重 摩耶, 上月 康則, 西上 広貴, 山中 亮一, 宇宙時代に「自然体験学習」は必要か?—工学系大学院生の意見より—, 日本環境教育学会第 28 回大会, 岩手, p197, 2017 年 8 月
- (12) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, ジグソー法を取り入れた大学講義の成果と課題に関する一考察—学生の特質に着目して—, 日本協同教育学会, 岡山, pp. 112-113, 2017 年 9 月
- (13) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, AL 型大学院講義での発問「宇宙での生活に本物の自然体験は必要か?」の学習効果について, 平成 29 年度全学 FD 推進プログラム大学教育カンファレンス in 徳島発表抄録集, 徳島, p. 38-39, 2018 年 1 月
- (14) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 矢野 司, 上月 康則, 山中 亮一, UAV を活用した希少種ルイスハンミョウ保全のための取り組み, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (15) 矢野 司, 渡辺 雅子, 辻岡 雅啓, 上月 康則, 山中 亮一, 地域の宝を守る ～人工海浜とルイスハンミョウの保護～, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (16) 西上 広貴, 上月 康則, 山中 亮一, 尾野 薫, 平川 倫, 「ふるさと」の変遷とそれに対する大学生の行動変容特性について, 景観デザイン研究会, 京都, 2017 年 12 月

## 渡辺 公次郎

- (1) 豊田 晃太郎, 奥嶋 政嗣, 渡辺 公次郎, 山中 英生: 地方都市圏での津波リスクを考慮した居住地選択に関する基礎的分析, 土木計画学研究・講演集, Vol. 56, 平成 29 年 11 月
- (2) 渡辺 公次郎: 徳島県阿南市における Maxent モデルを用いた水田の転用可能性に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp. 5-6, 2017 年 8 月
- (3) Kojiro WATANABE, Hideo Yamanaka and Akio Kondo: A Study on Simulation Model for Urbanization Considering Tsunami Disaster Risk in Japanese Provincial Cities,

Proceedings of 15th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management, Wed.B63, Adelaide, 2017 年 7 月

- (4) 福永 柚理子, 渡辺 公次郎, 近藤 光男: 歴史的市街地における延焼危険性に配慮した避難困難性に関する研究, 日本建築学会四国支部研究報告集, No. 17, pp. 109-110, 2017 年 5 月
- (5) 渡辺 公次郎, 寺嶋 勇輝, 近藤 光男: 徳島県阿南市における水田のグリーンインフラストラクチャとしての利用可能性に関する研究, 都市計画研究講演集, Vol. 15, pp. 25-28, 2017 年 4 月

#### <危機管理研究部門>

##### 中野 晋

- (1) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 学校の災害環境を確かめよう ---, 徳島教育, No. 1175, pp. 36-37, 2017 年 5 月
- (2) 中野 晋, 鳥庭 康代: 2015 年常総水害での保育所の災害対応に学ぶ, 日本保育学会発表要旨集第 70 回大会, 2017 年 5 月
- (3) 鳥庭 康代, 中野 晋: 2014 年 8 月の台風における高知市内私立保育園での応急対応と保育再開について, --- 浸水被害後の安全対策の改善と課題について ---, 日本保育学会発表要旨集第 70 回大会, 2017 年 5 月
- (4) 金井 純子, 中野 晋: 四国 4 県の福祉避難所アンケート調査からみた現状と今後の課題, 日本地域福祉学会第 31 回大会報告要旨集, p. 207, 2017 年 6 月
- (5) 中野 晋, 金井 純子: 熊本地震に学ぶ~大災害時の特別支援学校の役割~, 日本地域福祉学会第 31 回大会報告要旨集, p. 229, 2017 年 6 月
- (6) 中野 晋, 金井 純子, 野々村 敦子, 橋本 悠太郎: 熊本地震における特別支援学校の災害対応, 地域安全学会梗概集, No. 40, pp. 43-46, 2017 年 6 月
- (7) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 学校防災計画の活かし方 ---, 徳島教育, No. 1176, pp. 50-51, 2017 年 7 月
- (8) 中野 晋, 蔣 景彩, 上原 廣紀, 泉谷 衣那: 2016 年台風第 10 号による岩手県久慈市内の浸水被害, 第 36 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp. 139-140, 2017 年 9 月
- (9) 井上 惣介, 中野 晋: 2014 年徳島大雪における地元建設企業の災害対応, 第 36 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp. 113-114, 2017 年 9 月
- (10) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 豪雨災害時の危機対応 ---, 徳島教育, No. 1178, pp. 46-47, 2017 年 11 月
- (11) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 災害時の支援学校の役割~熊本地震を例に~ ---, 徳島教育, No. 1179, pp. 37-38, 2018 年 1 月
- (12) 中野 晋: 豪雨災害から子どもや職員を守るために, 日本保育学会会報, No. 170, pp. 2-3, 2018 年 1 月

##### 上月 康則

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018 年 1 月



- (2) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司: 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 2017 年 5 月
- (3) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 2017 年 5 月

#### **湯浅 恭史**

- (1) 橋本 美春, 井上 惣介, 福井 和也, 湯浅 恭史: 地域外の建設企業との連携への取組 (なでしこ BC 連携), 平成 29 年度土木学会四国支部第 23 回技術研究発表会, 2017 年 5 月
- (2) 湯浅 恭史, 中野 晋, 粕淵 義郎: 大学キャンパスにおける災害対応机上訓練の取組と今後の課題, 平成 29 年度土木学会四国支部第 23 回技術研究発表会, 2017 年 5 月
- (3) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏: 徳島県内の災害拠点病院における BCP への取組の現状と今後の課題, 第 23 回日本集団災害医学会学術集会, 2018 年 2 月

#### **金井 純子**

- (1) 金井 純子, 四国 4 県の高齢者施設を対象にした水害対策に関するアンケート調査の結果, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム開催案内, 2018 年 1 月 17 日

### **6. 4 受賞・表彰 (名前、授与機関名、受賞年月日 など)**

#### **1) 大阪管区気象台長表彰**

環境防災研究センター, 気象庁, 2017 年 6 月 1 日

多年にわたり他機関との連携を図り、徳島県民への防災と環境に関する知識の普及啓発に積極的に取り組み、地域の防災力向上に貢献した。

#### **2) 日本水環境学会設立 45 周年記念功労賞**

上月康則, (公) 日本水環境学会, 2017 年 6 月 16 日

#### **3) 生物多様性アクション大賞 2017 ふれよう部門優秀賞**

勝浦川流域フィールド講座, 国連生物多様性の 10 年日本委員会, 2017 年 12 月 8 日

「ふれよう部門」は、「山、海、川、動・植物園なおでの自然体験を通じて、自然の中で遊ぶことの楽しさや、地域の特色、生きものの生態や面白さを実感してもらう活動」を対象としている。今回の受賞は、①流域を意識した講座であること、②22 の市民団体がネットワークを形成して主体的に運営していること、③講座の内容も充実していて、徳島県と連携して“生物多様性リーダー”を認定していること、④そのリーダーが次のリーダー育成をサポートする循環の仕組みが構築されていること、そして、⑤学びの入り口で大学研究者等の学術を背景とする講師を迎えて科学的な知見が大事にされていること、が評価されたものである。



4) ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞) 2018 最優秀レジリエンス賞(人づくり、コミュニティ、リスクコミュニケーション分野)

徳島大学(徳島大学における BCP(事業継続計画)・防災への取り組み), (一社) レジリエンスジャパン推進協議会, 2018 年 3 月 20 日

## 6. 5 その他

### 石田 和之

- (1) 石田 和之, 「森林環境税の租税論」『森林環境 2018』森林文化協会, 2018 年 3 月